



学校だより

令和4年9月1日 第6号

金沢市立森本小学校



夏休みをふりかえって

学校だより（7月19日 第5号）において、「安全で 充実した夏休みになるように」と題して、実りある夏になることを期待していますと記しました。そこで、以下の設問を参考にいただき、お子様とこの夏休みをふりかえっていただければと思います。コロナ禍、熱中症警戒アラートが何度も発令される暑い夏でしたが、お子様が自らの成長に気づいたり、新たな興味や課題意識をもったりできたことをご家族で話題にして、2学期からの生活につなげていただければと思います。

具体的には、お子様が口にした「できたこと」「わかったこと」などを場面や様子にあわせて認めていただき、「できなかった」という発言があった場合も、努力したこと、できていたこと、できていた部分があったことを大きく認めてください。その際、「助かった」「おどろいた」「すごいと思った」など、保護者としての感想もお話ください。（例：はじめは、わからないって言っていたのに、本を借りてきて調べ始めたらお母さんがびっくりするくらいたくさんまとめて、本当にすごいと思ったよ。お母さんも、たくさん教えてもらえて勉強になった。ありがとう。また、教えてね。）

自分の考えを説明したり、考えて行動したりする姿

1. 「夏休みのすごし方」に書いてあるきまりやすごし方は守れましたか。
（自らの命や安全、きまりについて、意識して行動することができた。）
2. 夏休みにチャレンジしようとして計画したことは、達成できましたか。
（学校からの課題はもちろん、ご家庭で決めた内容に取り組むことができた。）
3. おうちで決めたお手伝いをやり続けることができましたか。
（家族の一員として、お手伝いがみんなのためになっていることに気づけた。）
4. 夏休み中に、新しく（または、もっと）興味をもったり、調べてみたくなったりしたことはありましたか。
（科学研究や読書、おでかけ等で、自分の好みなどを知る（または深める）きっかけがあった。）

また、夏休み中、規則正しい生活リズムで過ごしたとしても、長期休暇のあと、心身の不調が生じることがあります。場合によっては、長期化・深刻化することもあります。お子様の心配ごと、気になっているなど、学校やスクールカウンセラーと相談した方がよいと思われることがありましたら、遠慮なくメールにてご連絡ください。

【 森本小学校メールアドレス morimoto-e@kanazawa-city.ed.jp 】

防災意識をご家族や地域で

8月4日の大雨は、県内各地に大きな被害をもたらしました。あわせて、森本小学校校区でも、同日 15:10 に土砂災害による警戒レベル4「避難指示」が発令され、避難所が開設されました。（16日にも自主避難所として開設されました。）

※ご存知の方も多いとは思いますが、災害対策基本法の改正（令和3年5月）によって、警戒レベル5「緊急安全確保」を待つことなく、警戒レベル4「避難指示」までに避難することが必要とされています。避難行動は、避難所へ避難することだけを意味しているものではありません。

「正常性バイアス」という心理学用語は、防災でもよく使われます。これは、目の前に通常では理解できないことが起きたときに「これは大したことはない」と不安や心配を減らす心の安定機能のことです。これにより、危機に対応できないことが多々起きます。

そこで、ハザードマップや気象庁「キキクル」、河川ライブ映像などから情報を入手し、命を守る行動の手順を、ご家族や地域で話題にされることをおすすめします。とくに、放課後や休日に発生した場合について、お子様が、どのように対応したらいいかをご相談ください。

夏休み作品展のご案内（再掲）

ご案内の通りに、夏休み作品展を実施します。ぜひとも体育館までお越しください。（マスク、保護者証、うち履きをご持参のうえ、受付いただいた後、ご鑑賞ください。）

9月2日（金）、5日（月）…午前9時から午後4時30分まで（入場は午後4時まで）

9月6日（火）…午前9時から12時まで（入場は11時30分まで）